



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
 コード番号 2915 URL <https://www.kenkomayo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 炭井 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 本部長 (氏名) 諛田 能孝 TEL 03-5941-7682
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	68,502	△8.0	1,976	△31.9	2,050	△31.7	1,458	△29.2
2020年3月期	74,480	0.7	2,900	△6.9	3,003	△4.5	2,058	△10.4

（注）包括利益 2021年3月期 1,870百万円（10.2%） 2020年3月期 1,696百万円（△31.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	88.51	—	4.2	3.3	2.9
2020年3月期	124.94	—	6.1	4.5	3.9

（参考）持分法投資損益 2021年3月期 △22百万円 2020年3月期 67百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	62,320	35,577	57.1	2,159.46
2020年3月期	63,767	34,103	53.5	2,069.93

（参考）自己資本 2021年3月期 35,577百万円 2020年3月期 34,103百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	5,203	△588	△2,976	12,385
2020年3月期	5,575	△2,098	△3,657	10,747

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00	510	24.8	1.5
2021年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00	329	22.6	0.9
2022年3月期（予想）	—	7.00	—	8.00	15.00		23.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,200	6.9	1,430	△27.6	1,500	△26.9	1,050	△28.0	63.73

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	16,476,000株	2020年3月期	16,476,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	578株	2020年3月期	578株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	16,475,422株	2020年3月期	16,475,422株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	52,301	△12.5	1,371	△42.7	1,617	△36.1	1,140	△35.6
2020年3月期	59,740	△1.0	2,393	△23.0	2,532	△28.1	1,770	△39.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	69.20	—
2020年3月期	107.44	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2021年3月期	49,223	66.9	32,927	66.9	1,998.60		1,998.60	
2020年3月期	50,544	63.1	31,899	63.1	1,936.17		1,936.17	

(参考) 自己資本 2021年3月期 32,927百万円 2020年3月期 31,899百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年5月19日（水）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。説明内容につきましては、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	6
(4) 今後の見通し	7
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	8
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	8
3. 連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 連結貸借対照表	9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	11
連結損益計算書	11
連結包括利益計算書	12
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントの開催や会合等の自粛など深刻な影響を受け、景気は大幅に悪化しました。秋口には政府による観光業や飲食業等への政策支援もあり、回復の兆しが見られましたが、11月から感染者数が再び増加し、1月には緊急事態宣言が再発令され、経済活動は再び停滞することとなりました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、次の成長へ向けての中期経営計画『KENKO Value Action ～価値の創造～』を進めてまいりました。この中期経営計画の基本方針は、「CSV経営（Creating Shared Value）～共通価値の創造～」とし、社会と企業の両方に価値を生み出す企業活動を実践していくため、次の5つのテーマと3つの事業戦略を掲げております。

< 5つのテーマ >

- (Ⅰ) 地域貢献 ～地域貢献度No.1企業を目指して～
- (Ⅱ) 環境・資源 ～資源・エネルギー利用の効率化～
- (Ⅲ) サプライチェーン ～サプライチェーンの短縮と事業活動の改革～
- (Ⅳ) ソリューション ～「技術・サービス」の事業化～
- (Ⅴ) 働き方 ～従業員満足度の向上～

< 3つの事業戦略 >

- ①お客様と共にビジネスを創造・・・お客様の抱える課題に対して、当社の「商品力」「メニュー提案力」「情報発信力」等のノウハウを活かし、共に課題解決に取り組む
- ②“創り・応え・拓げる”生産体制・・・お客様への安定した商品供給体制の構築によりグループ総合力で業務用市場を支えていく
- ③サラダ料理を世界へ・・・サラダ料理を世界に向けて提案・拡販を目指す

当連結会計年度における売上高及び利益の概況は以下のとおりであります。

(売上高)

売上高につきましては、2020年5月25日に首都圏や北海道での緊急事態宣言が解除されてからは回復基調にありましたが、「第3波」といわれる11月からの感染拡大により、足元では再び停滞傾向となりました。このような状況下で当社ではデリバリーやテイクアウト需要の高まりなどを捉え、外食分野・中食分野の売上確保を進めるとともに、新しい食スタイルの変化に対応した販売提案を強化してまいりました。その結果、前連結会計年度比で減収となりましたが、2020年8月11日に公表しました売上高予想を上回ることができました。

(利益)

利益につきましては、売上高及び工場の稼働率が前年を下回っていることに対して、事業計画の見直しや活動経費削減等の取り組みを進めてまいりました。その結果、前連結会計年度比で減益となりましたが、2020年8月11日に公表しました業績予想を上回ることができました。

当連結会計年度における連結売上高は68,502百万円（前連結会計年度比5,978百万円の減少、8.0%減）、連結営業利益は1,976百万円（前連結会計年度比923百万円の減少、31.9%減）、連結経常利益は2,050百万円（前連結会計年度比952百万円の減少、31.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,458百万円（前連結会計年度比600百万円の減少、29.2%減）となりました。

当連結会計年度における各報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(調味料・加工食品事業)

主に外食分野において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、各商品群何れも前連結会計年度比で減収となりました。各商品群における主な内容は次のとおりです。

サラダ・総菜類につきましては、ホテルやレストランなどにおけるビュッフェ・バイキング形式での食事提供の中止等により、主力商品の1kg形態のポテトサラダが大きく影響を受けたことが主な減少要因です。

タマゴ加工品につきましては、コンビニエンスストア向けのタマゴサラダや麺用の錦糸卵が減少しました。

マヨネーズ・ドレッシング類につきましては、外食分野の主力商品であるマヨネーズの1kg及びドレッシングの1L形態商品が大きく減少しましたが、ファストフード向けでプロモーション商品の導入が進みました。

各商品群ともに、デリバリーやテイクアウト向けなど小型形態商品のラインナップ充実をはかり、また、量販店やドラッグストアなどへの新たな販路拡大を進めております。

この結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は51,611百万円（前連結会計年度比7,481百万円の減少、12.7%減）、セグメント利益は1,617百万円（前連結会計年度比915百万円の減少、36.1%減）となりました。

(総菜関連事業等)

外出自粛等の影響もあり量販店における総菜類の需要が高く、売上を伸ばすことができました。

2018年6月より稼働を開始した株式会社関東ダイエットクック神奈川工場が3年目に入り、売上高が順調に拡大し、収益も大きく改善が進んでおります。また、株式会社九州ダイエットクックにおけるフレッシュ総菜事業の売上拡大に向けた設備投資の効果により、計画どおりに売上・利益が増加しております。

この結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は16,057百万円(前連結会計年度比1,806百万円の増加、12.7%増)、セグメント利益は541百万円(前連結会計年度比145百万円の増加、36.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、26,317百万円(前連結会計年度比699百万円の増加、2.7%増)となりました。これは主に現金及び預金が1,638百万円増加し、受取手形及び売掛金が394百万円減少、商品及び製品が245百万円減少したこと等によるものであります。

(なお、現金及び預金の詳しい内容につきましては連結キャッシュ・フロー計算書をご参照ください。)

当連結会計年度末における固定資産は、36,003百万円(前連結会計年度比2,146百万円の減少、5.6%減)となりました。これは主に機械装置及び運搬具(純額)が1,787百万円減少、建物及び構築物(純額)が568百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は62,320百万円(前連結会計年度比1,447百万円の減少、2.3%減)となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、15,004百万円(前連結会計年度比753百万円の減少、4.8%減)となりました。これは主に未払金が739百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、11,738百万円(前連結会計年度比2,169百万円の減少、15.6%減)となりました。これは主に長期借入金が1,429百万円減少、長期未払金が906百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は26,742百万円(前連結会計年度比2,922百万円の減少、9.9%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、35,577百万円(前連結会計年度比1,474百万円の増加、4.3%増)となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は57.1%(前連結会計年度比3.6ポイント増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、12,385百万円（前連結会計年度比1,638百万円の増加）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5,203百万円（前連結会計年度比372百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,140百万円、減価償却費2,952百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、588百万円（前連結会計年度比1,509百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出657百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2,976百万円（前連結会計年度比681百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,513百万円、割賦債務の返済による支出1,130百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	55.3	47.8	46.9	53.5	57.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	87.6	88.8	51.6	52.6	49.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.6	2.8	7.9	2.8	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	90.7	71.9	24.8	55.6	62.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期(2022年3月期)の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の継続が困難となる企業の増加や失業率の上昇等も懸念されております。雇用環境の悪化に伴う個人消費の低迷やインバウンド需要が見込めない状況であることなどから経済活動がコロナ前の水準へ正常化するまでには時間を要するものと想定されております。また、主要な原料の価格が過去に類をみない大幅な上昇により、厳しい事業環境にあります。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、不要不急の外出自粛やテレワークの推進等の新しい生活様式に対応したテイクアウトなどに向けた商品ラインナップの充実を図るとともに、ドラッグストアをはじめとした更なる販路拡大を進めてまいります。

2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は73,200百万円(前連結会計年度比4,697百万円の増加、6.9%増)、連結営業利益は1,430百万円(前連結会計年度比546百万円の減少、27.6%減)、連結経常利益は1,500百万円(前連結会計年度比550百万円の減少、26.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,050百万円(前連結会計年度比408百万円の減少、28.0%減)と予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、企業価値の向上を目指すとともに、株主の皆様へ安定した利益還元を維持継続し、配当性向を向上させることを経営の重要課題としております。

当期の期末配当金におきましては、12円とする議案を定時株主総会に付議させていただきます。これにより、中間配当金8円を加えた年間配当金は1株当たり20円となります。

また、次期(2022年3月期)の配当金は、現状の業績動向と利益還元の方針を勘案しました結果、年間配当金を15円とさせていただきます予定であります。

内部留保金につきましては、安定した利益配分の財源として今後の成長に向けて事業基盤強化を進めてまいります。また「積極投資と財務の健全性維持との両立を目指す」という財務目標を達成させ、株主の皆様への一層の利益還元を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,747	12,385
受取手形及び売掛金	11,399	11,004
商品及び製品	2,060	1,814
仕掛品	9	8
原材料及び貯蔵品	958	812
未収入金	127	33
その他	317	259
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,617	26,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,047	19,769
減価償却累計額	△8,445	△7,736
建物及び構築物 (純額)	12,601	12,033
機械装置及び運搬具	26,546	24,828
減価償却累計額	△13,830	△13,899
機械装置及び運搬具 (純額)	12,716	10,928
工具、器具及び備品	1,733	1,719
減価償却累計額	△1,316	△1,308
工具、器具及び備品 (純額)	416	411
土地	5,903	6,021
リース資産	73	57
減価償却累計額	△12	△3
リース資産 (純額)	61	53
建設仮勘定	126	2
有形固定資産合計	31,826	29,451
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,666	5,077
退職給付に係る資産	151	243
繰延税金資産	308	190
差入保証金	355	241
保険積立金	560	564
その他	138	99
貸倒引当金	△26	△31
投資その他の資産合計	6,153	6,385
固定資産合計	38,149	36,003
資産合計	63,767	62,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,938	7,753
電子記録債務	715	673
1年内返済予定の長期借入金	1,513	1,499
未払金	3,605	2,866
未払法人税等	439	305
賞与引当金	434	408
役員賞与引当金	16	15
売上割戻引当金	18	17
営業外電子記録債務	1	6
その他	1,072	1,458
流動負債合計	15,757	15,004
固定負債		
長期借入金	8,571	7,141
繰延税金負債	41	86
役員退職慰労引当金	382	395
退職給付に係る負債	394	398
長期未払金	4,425	3,519
資産除去債務	—	119
その他	90	77
固定負債合計	13,907	11,738
負債合計	29,664	26,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金	5,691	5,691
利益剰余金	22,190	23,253
自己株式	△1	△1
株主資本合計	33,305	34,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899	1,268
為替換算調整勘定	△44	△22
退職給付に係る調整累計額	△56	△35
その他の包括利益累計額合計	797	1,210
純資産合計	34,103	35,577
負債純資産合計	63,767	62,320

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	74,480	68,502
売上原価	56,635	52,643
売上総利益	17,844	15,859
販売費及び一般管理費	14,944	13,882
営業利益	2,900	1,976
営業外収益		
持分法による投資利益	67	—
受取賃貸料	15	15
受取利息及び配当金	40	35
雇用調整助成金	—	47
その他	90	106
営業外収益合計	213	204
営業外費用		
支払利息	100	83
持分法による投資損失	—	22
為替差損	1	—
その他	8	23
営業外費用合計	110	130
経常利益	3,003	2,050
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
補助金収入	159	108
その他	10	—
特別利益合計	169	115
特別損失		
減損損失	4	0
災害による損失	2	—
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	14
固定資産除却損	3	6
賃貸借契約解約損	53	—
その他	3	3
特別損失合計	68	26
税金等調整前当期純利益	3,104	2,140
法人税、住民税及び事業税	958	658
法人税等調整額	88	23
法人税等合計	1,046	681
当期純利益	2,058	1,458
親会社株主に帰属する当期純利益	2,058	1,458

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,058	1,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△328	369
退職給付に係る調整額	△2	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	22
その他の包括利益合計	△361	412
包括利益	1,696	1,870
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,696	1,870

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,424	5,691	20,626	△1	31,740
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,058		2,058
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,564	—	1,564
当期末残高	5,424	5,691	22,190	△1	33,305

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,227	△14	△54	1,159	32,900
当期変動額					
剰余金の配当					△494
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,058
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△328	△30	△2	△361	△361
当期変動額合計	△328	△30	△2	△361	1,202
当期末残高	899	△44	△56	797	34,103

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,424	5,691	22,190	△1	33,305
当期変動額					
剰余金の配当			△395		△395
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,458		1,458
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,062	—	1,062
当期末残高	5,424	5,691	23,253	△1	34,367

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	899	△44	△56	797	34,103
当期変動額					
剰余金の配当					△395
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,458
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	369	22	20	412	412
当期変動額合計	369	22	20	412	1,474
当期末残高	1,268	△22	△35	1,210	35,577

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,104	2,140
減価償却費	2,966	2,952
減損損失	4	0
固定資産圧縮損	851	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△26
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△85	12
受取利息及び受取配当金	△40	△35
支払利息	100	83
固定資産除却損	3	6
補助金収入	△1,020	△108
売上債権の増減額 (△は増加)	1,999	394
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79	392
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,897	△227
前払費用の増減額 (△は増加)	△171	12
未払金の増減額 (△は減少)	△655	△404
未払消費税等の増減額 (△は減少)	535	537
未払費用の増減額 (△は減少)	△85	△29
その他の資産の増減額 (△は増加)	344	55
その他の負債の増減額 (△は減少)	△67	59
その他	△67	22
小計	5,718	5,853
利息及び配当金の受取額	40	117
利息の支払額	△100	△83
補助金の受取額	1,020	108
法人税等の支払額	△1,103	△792
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,575	5,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,017	△657
無形固定資産の取得による支出	△51	△48
投資有価証券の取得による支出	△22	△22
投資有価証券の売却による収入	—	26
その他	△6	113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,098	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	70
長期借入金の返済による支出	△1,696	△1,513
配当金の支払額	△494	△394
割賦債務の返済による支出	△1,459	△1,130
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,657	△2,976
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△179	1,638
現金及び現金同等物の期首残高	10,927	10,747
現金及び現金同等物の期末残高	10,747	12,385

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「調味料・加工食品事業」及び「総菜関連事業等」を営んでおり、業種別に区分された事業ごとに、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは業種別に区分された事業を基盤としたセグメントから構成されており、「調味料・加工食品事業」及び「総菜関連事業等」の2つを報告セグメントとしております。「調味料・加工食品事業」は調理加工食品、マヨネーズ・ドレッシング類及びタマゴ加工品の製造・販売をしております。「総菜関連事業等」はフレッシュ総菜（日配サラダ・惣菜）の製造及び量販店等への販売、また主に、当社からの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	59,093	14,250	73,344	1,136	74,480	—	74,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	648	8,138	8,786	—	8,786	△8,786	—
計	59,742	22,388	82,131	1,136	83,267	△8,786	74,480
セグメント利益又は損失(△)	2,532	396	2,928	80	3,009	△6	3,003
セグメント資産	48,012	16,198	64,211	2,691	66,902	△3,134	63,767
その他の項目							
減価償却費	2,187	776	2,963	3	2,966	—	2,966
受取利息	9	0	9	0	9	△7	1
支払利息	38	68	106	0	107	△7	100
持分法による投資利益又は損失(△)	—	—	—	67	67	—	67
持分法適用会社への投資額	—	—	—	2,532	2,532	—	2,532
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,844	125	5,969	—	5,969	—	5,969

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△3,134百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	51,611	16,057	67,669	832	68,502	—	68,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	689	6,465	7,154	—	7,154	△7,154	—
計	52,301	22,523	74,824	832	75,657	△7,154	68,502
セグメント利益又は損失(△)	1,617	541	2,158	△35	2,123	△72	2,050
セグメント資産	46,774	15,917	62,691	2,645	65,336	△3,016	62,320
その他の項目							
減価償却費	2,169	780	2,949	2	2,952	—	2,952
受取利息	5	0	5	0	5	△5	0
支払利息	25	62	88	1	89	△5	83
持分法による投資利益又は損失(△)	—	—	—	△22	△22	—	△22
持分法適用会社への投資額	—	—	—	2,449	2,449	—	2,449
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	350	159	509	—	509	—	509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△3,016百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,069円93銭	2,159円46銭
1株当たり当期純利益	124円94銭	88円51銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,058	1,458
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,058	1,458
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,475,422	16,475,422

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,750	9,373
受取手形	112	82
売掛金	9,850	9,302
電子記録債権	33	25
商品及び製品	2,073	1,800
仕掛品	2	1
原材料及び貯蔵品	666	544
前払費用	80	67
関係会社短期貸付金	257	340
未収入金	105	97
その他	208	148
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	21,137	21,780
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,554	6,247
構築物	453	414
機械及び装置	9,815	8,399
車両運搬具	0	1
工具、器具及び備品	286	308
土地	4,338	4,338
リース資産	52	45
建設仮勘定	126	0
有形固定資産合計	21,627	19,755
無形固定資産		
無形固定資産	137	132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,897	2,260
関係会社株式	3,888	3,888
関係会社長期貸付金	550	300
繰延税金資産	222	101
差入保証金	270	183
保険積立金	560	564
前払年金費用	212	281
その他	133	94
貸倒引当金	△94	△117
投資その他の資産合計	7,641	7,555
固定資産合計	29,406	27,443
資産合計	50,544	49,223

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	715	673
買掛金	7,350	7,139
1年内返済予定の長期借入金	1,231	1,186
未払金	2,765	2,039
未払費用	494	406
未払法人税等	364	162
賞与引当金	352	324
役員賞与引当金	13	13
売上割戻引当金	7	3
営業外電子記録債務	1	6
その他	48	569
流動負債合計	13,345	12,526
固定負債		
長期借入金	3,432	2,245
長期未払金	1,042	567
退職給付引当金	371	382
役員退職慰労引当金	376	390
資産除去債務	—	113
その他	76	70
固定負債合計	5,299	3,769
負債合計	18,645	16,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金		
資本準備金	5,691	5,691
資本剰余金合計	5,691	5,691
利益剰余金		
利益準備金	138	138
その他利益剰余金		
別途積立金	16,699	18,399
繰越利益剰余金	3,163	2,208
利益剰余金合計	20,001	20,746
自己株式	△1	△1
株主資本合計	31,115	31,860
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	783	1,067
評価・換算差額等合計	783	1,067
純資産合計	31,899	32,927
負債純資産合計	50,544	49,223

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	59,740	52,301
売上原価	46,021	40,812
売上総利益	13,719	11,488
販売費及び一般管理費	11,326	10,116
営業利益	2,393	1,371
営業外収益		
受取賃貸料	58	59
受取利息及び配当金	44	125
雇用調整助成金	—	35
貸倒引当金戻入額	11	0
その他	70	88
営業外収益合計	185	309
営業外費用		
支払利息	38	25
為替差損	1	—
貸倒引当金繰入額	—	24
その他	6	14
営業外費用合計	46	64
経常利益	2,532	1,617
特別利益		
補助金収入	72	27
投資有価証券売却益	—	7
特別利益合計	72	35
特別損失		
減損損失	4	0
災害による損失	0	—
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	6	19
税引前当期純利益	2,598	1,633
法人税、住民税及び事業税	765	456
法人税等調整額	63	36
法人税等合計	828	492
当期純利益	1,770	1,140

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	5,424	5,691	5,691	138	14,999	3,587	18,725
当期変動額							
別途積立金の積立					1,700	△1,700	—
剰余金の配当						△494	△494
当期純利益						1,770	1,770
自己株式の取得							
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	1,700	△424	1,275
当期末残高	5,424	5,691	5,691	138	16,699	3,163	20,001

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1	29,839	1,092	1,092	30,932
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△494			△494
当期純利益		1,770			1,770
自己株式の取得					—
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)			△309	△309	△309
当期変動額合計	—	1,275	△309	△309	966
当期末残高	△1	31,115	783	783	31,899

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	5,424	5,691	5,691	138	16,699	3,163	20,001
当期変動額							
別途積立金の積立					1,700	△1,700	—
剰余金の配当						△395	△395
当期純利益						1,140	1,140
自己株式の取得							
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	1,700	△955	744
当期末残高	5,424	5,691	5,691	138	18,399	2,208	20,746

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1	31,115	783	783	31,899
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△395			△395
当期純利益		1,140			1,140
自己株式の取得					—
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)			283	283	283
当期変動額合計	—	744	283	283	1,028
当期末残高	△1	31,860	1,067	1,067	32,927